

2020-21
国際ロータリーテーマ

ロータリーは世界の夢を築く

Rotary

ホルガー・クナーク

2020～2021年度 標語
「強い、絆で、未来を築こう」
諫早西ロータリークラブ
会長 野中英己

第1678例会 2020年 11 月 18 日例会記録 NO.16 天候 晴れ

【本 日】会員数 45名 出席 42名 欠席 2名 出席率 95.56%
 【11/11】会員数 45名 出席 45名 欠席 0名 (MU 2名) 免除 0名 出席率 100.00%

会長の時間

新そばの季節

待ちに待った新そばの季節がやってきました。新米と同様、今だけの限定を楽しみたいです。

新そばには、夏の「夏新」と晩秋の「秋新」がありますが、香りや甘みが強いのは「秋新」だそうです。そばは、英語で「バックウィート(ブナに似た実を付ける小麦のような作物)」と呼ばれていますが、小麦とは何の関係も無い、タデ科の植物です。ビタミンB1が豊富に含まれているので、かつて、「江戸わずらい」と呼ばれた脚気(かっけ)の予防にも一役かかっていました。安さもある、江戸ではそばが、大人気となりました。ビタミンB1の他、食物からしか補給できない必須アミノ酸を9種類も含み、鉄分や亜鉛、カリウムなどのミネラル、抗酸化物質のルチンやケルセチンも豊富です。日常的にそばを食べている人の血圧が低い傾向にあるという研究もあります。十割そばや、山芋をつなぎに使った自然薯そばであれば、小麦アレルギーの人でも、安心して食べられます。しかし、そばアレルギーの人もありますし、光過敏発疹や頭痛などを引き起こすファゴピリンという物質も含むので、食べる際には、気を付けて下さい。

幹事報告

例会変更・休会なし

【お知らせ】

※米山記念奨学会より

「ハイライトよねやま Vol. 248」

※のんのこ諫早まつり振興会より

「令和2年度 のんのこ諫早まつり振興会 会費請求の見送りについて」

委員会報告

『親睦旅行について』永井 栄次 会員

ゴルフ組は7:15分、観光組は14:30分にサンプリエールを出発しますので、15分前には集合してください。その際、検温を実施します。



スマイルボックス



親睦活動委員会 長田 篤志 委員

野中 英己君：本日は小春日和の様な暖かく穏やかな一日です。仕事に精を出して頑張ってください。
 荒木賢治郎君：新型コロナ対策にはマスクがワクチンと同等か、それ以上の予防効果があるそうですよ。皆さん元気で私もうれしいです。

清水 淳君：早退します。すみません。

本日の合計 (11/18)	累計額
¥4,000	¥521,000

会長／野中英己 幹事／宇土 久 創立日／昭和60年2月20日 認証日／昭和60年3月5日
 例会場／平安閣 諫早サンプリエール(毎週水曜日) 〒854-0053 諫早市小川町71-1 TEL (0957) 24-3907
 事務局／諫早商工会議所内 〒854-0016 諫早市高城町5番10号 TEL (0957) 22-3323
 会報委員／草野 恵介・原田 典範・久保 泰正・清水 淳・吉田 健一郎
 HP/<http://isahaya-west.com> E-mail/info@isahaya-west.com



第一回家庭集会発表

〔テーマ〕

- ①ロータリーに入会して思うこと
- ②今後のロータリー会員の維持と増強について

【A 班】

日 時：令和2年11月11日(水) 18:30～

場 所：平安閣

参加者：平野(R)、小島(S)、山崎、平、辻本、福田
山本、山口博、宇土幹事

発表内容については後日掲載します。

【B 班】

日 時：令和2年11月4日(水) 18:30～

場 所：古都

参加者：佐藤真(R)、川野(S)、吉次、佐藤幸、永井
久保、荒木賢、古賀、荒木公、日高、野中会長

①ロータリーに入会して思うこと

- ・みんなで、食事するのが苦手だったが、4年たってみんなで楽しく食事することができるようになった。
- ・自分にも奉仕の心が芽生えてきた。奉仕を通じて、仕事を高めていきたい。
- ・4つのテストを目安にしている。
- ・仕事のチャンスが増えた。
- ・会長、幹事、委員長を経験したことで、たくさんの事を学んだ。
- ・若い人が増え、頑張ってくれるようになった。
- ・友達が増えた。素晴らしい人に出会えた。経済界の偉い人や、雲の上の存在の人と直で話せるようになった。
- ・売り手、買い手の両方の職業倫理を学んだ。
- ・いろいろな所に行けてよかった。中国でロータリーといったら、フリーパスで優遇された。ロータリーは考えが崇高で、国際的に素晴らしい団体である。
- ・災害時の寄付など、ロータリーに貯めたお金があり、すぐに出す事ができた。
- ・助け合う心は大切に社会貢献である。
- ・ロータリーからの奨学金で、多くの人が助かっており、感謝している。
- ・西ロータリーの活動は、すばらしく、子供弁当は、高く評価されている。

②今後のロータリー会員の維持と増強について

- ・出席率が高く、楽しい例会を作り、会員を増強する。
- ・若手を育てる、若手の手助けをする。昔は、会長が

幹事を育てたが、今は、幹事が会長を育てる。

- ・西クラブの違う職種から選んで欲しい。
- ・家庭集会のたびに、各グループで候補者を出して欲しい。
- ・コロナの不況下で、会員増強は難しい。
- ・女性会員の入会をどうするか。

【C 班】

日 時：令和2年11月4日(水) 18:30～

場 所：虎たつ

参加者：千住(R)、柏木(S)、小野、草野、山口大
塚原、御厨、南部、友永、毎熊会長エレクト

①ロータリーに入会して思うこと

ロータリーに入会した自分と入会していなかった自分を考え比較しながらの意見交換を行った。

- ・異業種のメンバーとの交流が非常にためになる。入会していなかったらと考えると大変良かった。いい先輩、いい手本となるメンバーに会える。
- ・例会に出席することで情報が入ってくる。また、偉大な先輩からいろいろと学べ、また助言もいただける。それが仕事にもつながっている。
- ・会長の時間にとっても感動した。その感動が入会してよかったと思う。
- ・入会して活動したことで仲間ができ大変良かった。

*入会して大変自分のためになったという意見がほとんどだった。

②今後のロータリー会員の維持と増強について

- ・現況を考えると社会状況を鑑みながら会員の増強を考えていかなければいけないのでは…。
- ・5年後を考えると確実に世代交代が進んでいることを考えると、会員増強は必須である。
- ・60歳までに会長職を経験することがいいのでは。
- ・会員増強に関してメリットを話すだけではなく、どう印象良く話すのかも大事
- ・年代別での家庭集会もあったらどうか。

そのなかで、会員増強に関して、現在西ロータリークラブにはいない女性会員についても意見を交わしました。様々な意見が出ましたが、クラブとして女性会員について考えないといけない時期に来ているのではないかという事で締め括りました。

【D 班】

日 時：令和2年10月28日(水) 18:30～

場 所：古都

参加者：坂本(R)、吉田(S)、立野、早田、松井
森、江嶋、長田、野中会長

①ロータリーに入会して思うこと

- ・職場以外の、異業種の友達ができた。
- ・奉仕の作業をする中で親睦も図れ、会員相互の気持ちが理解できた。
- ・入会して新たな友達ができ、仕事でも良きアドバイスを頂けた。
- ・ロータリーのバッジには重みがあることを知った。お陰で海外との仕事にもつながっている。又、海外との姉妹クラブとして簡単に結びつがる。
- ・我がクラブは派閥が無い様で楽しいクラブである。

②今後のロータリー会員の維持と増強について

- ・若い会員が積極的に奉仕事業にも参加して欲しい。
- ・若い人を誘ってみるが、まだ仕事もあって団体に入りたがらない。
- ・新入会員の推薦は、順序として現会員にFAXで回す前に、会員選考委員会に掛ける手順を踏んで欲しい。

【E 班】

日 時：令和2年10月29日(木) 18:30～

場 所：虎たつ

参加者：岩下(R)、高瀬(S)、宮本、毎熊、原田
吉野、清水、浦江

①ロータリーに入会して思うこと

- ・いろんな人と出会えて良かった。
- ・多くの人と出会いがあった良かった。
- ・会社員の時はいろんな人と出会いがあったが、自営になって人との出会いがなかったが、ロータリーに入って、人との出会いが増えて良かった。
- ・ロータリーに入って最初のころは楽しかったが、年数増えてきたら、難しくなってきた。
- ・会社のトップの人の意見とか聞けていい。西クラブは上下関係とか先輩、後輩がなく、みなさんと話しやすいし、付き合いやすくていいクラブだと思う。
- ・自営だと、年上の人との出会いがなかった、付き合いもなかった。入会して視野が広がった。

②今後のロータリー会員の維持と増強について

- ・西クラブでは会員の高齢化が進み、若い人の会員

増強が必要。

- ・若い人が入ってもらえば、将来性がある。
- ・ビジョンをもって、会員増強。
- ・誰もかれも入ってもらえばいいのではなく、その人の人間性がロータリーに合うかどうかをよく話を聞いて、誘う様にする。
- ・女性会員の入会について。

【総評】

小野ロータリー情報委員長

- ・多くの意見が出たことは良かったです。
- ・テーマが繰り返しになりがちなので、良いテーマ候補があれば教えて下さい。
- ・会員増強はなかなか難しい処がありますが、柔軟性を持った会員でありクラブであれば、良い結果がついてくるものと考えております。

野中会長

- ・会長も幹事も参加できなかったグループについては、改めてお詫び申し上げます。
- ・会員増強テーマの中で女性会員についての意見が幾つかありましたが、第7・第8グループの会長の集まりでは、諫早南と大村のクラブ会長は女性ですとの指摘もありました。
- ・結論として、諫早西クラブを楽しいクラブにしないと会員増強はできないと思います。一人ひとりが楽しみながら自己研鑽を続ければ、会員増強もうまくいくでしょう。

※会報・広報・雑誌委員会の手違いにより、今週の週報は【写真なし】となりました。今後このようなことが起きない様に気を付けます。

地域に貢献するロータリーの芽 『インターアクター』

11月5日を含む1週間は世界インターアクト週間です。インターアクトクラブ（IAC）は、12～18歳の中高校生が地元でのボランティア活動や海外との交流を通じて、リーダーシップなどを学ぶことができるロータリーのプログラムです。日本には600以上のインターアクトクラブがあり、さまざまな活動を行っています。インターアクターたちの活動をご紹介します。

「食」で地域貢献 長野女子高校 IAC 顧問 望月 誠

長野女子高校 IAC は、国際交流やボランティア、福祉活動を行っています。今回はその中でも「食」に関する2つの地域活動を紹介します。

三輪たんぼ保存プロジェクト

地元の長野市三輪地区で、かつて「三輪たんぼ」と愛着をもって呼ばれるほど盛んだった水稻耕作を復活させることで、地域の伝統を守り、町づくりにもつなげようという活動をしています。

三輪地区は戦後宅地化が進み、現存する水田は1枚だけです。私たちは昨年春、学校駐車場の空きスペース3坪(約10㎡)ほどを開墾し、防水シートを全面に施して、小さな田んぼをつくりました。水の管理や防鳥対策など自然相手の作業は大変でしたが、インターアクター以上に地域の人たちが稲の成長を楽しみにしてくれました。田んぼを見た人が「この辺は昔、田んぼだらけだった」「穂が出たね。収穫はいつなの？」と声を掛けてくれ、季節や稲の成長と共に、地域の話づくりにも貢献したように感じています。

昨年の収穫量はおよそ3kg。地域の秋祭りで振る舞う予定でしたが、10月に県を襲った台風19号で、今年は新型コロナウイルスの影響でイベントが中止となり、地域の人には振る舞えていない状況です。農作業そのものは、コロナ禍の影響を受けずに継続しています。



校内で稲作に取り組む生徒たち

みんなのわ弁当

地元のランドマークである長野電鉄本郷駅の駅弁を開発する活動も行っています。三輪地区の中心に位置する長野電鉄本郷駅の駅舎は、かつてはステーションデパートとして大変にぎわっていましたが、現在はテナントが全て撤退し、少し寂しい場所になっています。本校の生徒の半数以上が利用しているこの駅を再び魅力的な場所にしたいと考え、地域の特長を生かした駅弁を作ることにしました。

駅弁のコンセプトは地域に教育機関が多く、給食のように誰かと一緒に食べてほしいという思いを込めて

「学校給食風」を企画。メニューは地域住民へアンケートし、小学生と栄養科に通う大学生と話し合って決めました。こうしてできた駅弁「みんなのわ弁当」は、これまでに学校の文化祭や長野電鉄のイベント、地域のお祭りで販売し、多くの人に喜んでもらいました。いつかは本郷駅で販売したいと思っています。

今年は新型コロナウイルスの影響で食に関する活動が厳しく制限されています。学校ではいまだに調理実習も実施できていませんし、例年あるはずの行事やイベントも軒並み中止となりました。従来の活動ができず、インターアクターにとってはつらい年になりましたが、少しでも地域が明るくなるような活動を展開していきたいと思っています。

(第2600地区 長野県)



郷土料理を作る生徒たち



開発した駅弁を地元の人々に振る舞う